

# 水稻作況試験情報 【令和3年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月11日現在）

移植期以降、最高気温は平年並み、最低気温は7月1、2半旬でやや高く推移した。降水量は7月1半旬までは平年より少なく、日照時間は6月6半旬～7月2半旬は少なかった。田植20日後の生育については、草丈はコシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい3品種とも過去5か年の平均値より長かった。茎数はヒノヒカリでやや少なかったが、おいでまいはやや多く、コシヒカリは多かった。主稈葉数は3品種ともやや少なかった。

## 1. 作況試験の方法

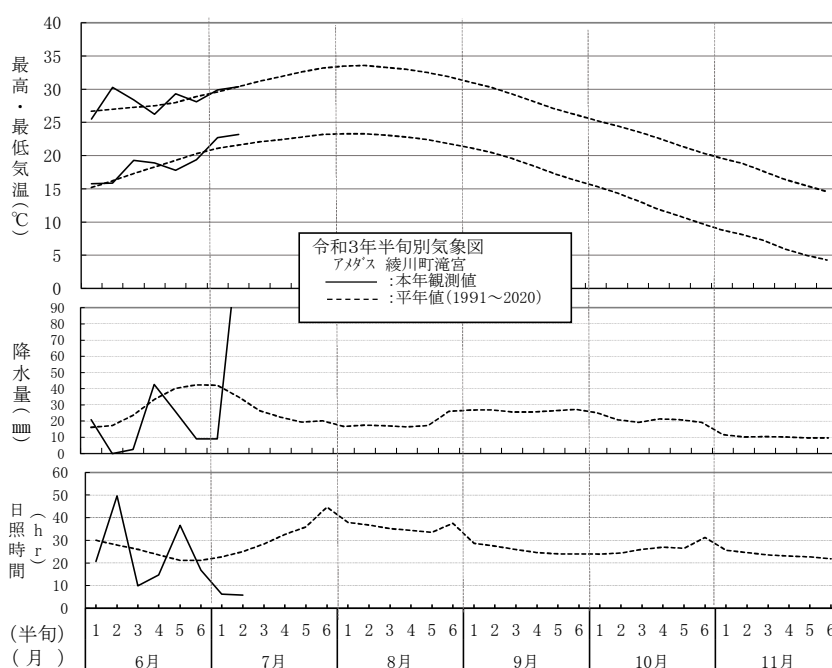
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月21日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup>（30cm×18cm）、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥（N成分kg/a）

	基肥	穂肥Ⅰ（予定）	穂肥Ⅱ（予定）
コシヒカリ	0.3	0.15	0.10
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料（N：P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>：K<sub>2</sub>O＝14：10：12%）
- 7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup>（コシヒカリ500m<sup>2</sup>）、2反復

## 2. 具体的データ

令和3年産水稻 気象表（7月2半旬まで）



注) 7月2半旬の降水量は、131.5mmであった。

令和3年産 水稻作況試験生育調査結果(7月11日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時 (6/21)	草丈(cm)	17.2	13.9	3.3	13.0	11.6	1.4	12.6	11.5	1.1
	主稈葉数(枚)	2.3	2.5	▲ 0.2	2.4	2.6	▲ 0.2	2.4	2.7	▲ 0.3
田植20日後 (7/11)	草丈(cm)	41.1	37.2	3.9	32.1	30.7	1.4	34.1	32.9	1.2
	茎数(本/㎡)	261	210	24 %	230	252	▲ 9 %	296	273	8 %
	主稈葉数(枚)	7.3	7.4	▲ 0.1	7.3	7.7	▲ 0.4	7.4	7.7	▲ 0.3
田植30日後 (7/21)	草丈(cm)		55.8			47.7			45.8	
	茎数(本/㎡)		479	%		532	%		621	%
	主稈葉数(枚)		9.8			9.9			10.2	
田植40日後 (7/31)	草丈(cm)		74.1			68.0			65.28	
	茎数(本/㎡)		516	%		576	%		695.2	%
	主稈葉数(枚)		11.3			11.4			12.0	
播種期(月/日)		5/31	5/30	1	5/31	5/30	1	5/31	5/30	1
移植期(月/日)		6/21	6/19	2	6/21	6/19	2	6/21	6/19	2
幼穂形成始期(月/日)			7/27			8/6			8/7	
出穂期(月/日)			8/14			8/26			8/27	
主稈止葉葉位(枚)			13.1			14.3			15.2	
穂数(本/㎡)			397	%		389	%		414	%
稈長(cm)			84.0			79.2			77.2	
穂長(cm)			17.8			17.7			18.9	
成熟期(月/日)			9/18			10/6			10/6	

注1)コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2)茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。